

「人工関節センター」1日開設

手術、外来を専門的に

製鉄室蘭病院

室蘭市知利別町の製鉄記念室蘭病院（松木高雪病院長）は4月1日から、専門外来「人工関節センター」を開設する。変形性関節症や関節リウマチなどの疾患で、損傷した膝関節や股関節から人工関節に置き換える手術（人工関節置換術）や、置換術後の経過観察などについて、下肢が専門となる整形外科医長・総村俊之医師（37）が担当する。

人工関節置換術は、傷つ



製鉄記念室蘭病院が4月1日から開設する「人工関節センター」を担当する総村医長

いた関節の損傷面を取り除いた上で、関節の動きを再現するために人工関節を埋め込む手術。金属や超高分子ポリエチレン、プラスチックなどを組み合わせた人工関節に置き換えることで痛みを取り除くだけでなく、日常生活を送る中で人工関節のゆるみを確認するなど、継続的な対応も重要だ。

同病院によると、2012年度（平成24年度）の人工関節置換術は計73件（膝関節58件、股関節15件）に対して、13年度（3月26日現在）は87件（膝関節68件、股関節19件）と、増加している状況だ。人工関節置換術は高齢

化に合わせてますます増える要素があり、西胆振圏域から札幌への転院や通院をしている患者も多い。

これまででは整形外科医が診療した人工関節分野について、専門医による的確な診療と体制の充実に向けて、人工関節センターを開設する。毎週金曜日の午前のみ診察（予約制）で、受診には他病院や医院の紹介状か、製鉄記念室蘭病院整形外科で初診が必要。

同病院整形外科では脊椎・脊髄センター（昨年10月開設）に続く専門外来の開設。総村医長は「膝や股関節の痛みや変形で困っている患者さんは潜在的に多い。低侵襲な手術と充実したリハビリ、継続的な診療体制で、患者さんの負担軽減につなげたい」と話す。

問い合わせなどは、製鉄記念室蘭病院、電話0143・44局4650番へ。

（松岡秀宜）